

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和4年11月18日

公表：令和4年12月27日

事業所名 児童発達支援事業どんぐり

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			ひとつの部屋に集中しないよう、個々のスケジュールを工夫している。また、必要に応じて活動を分けて行い、各部屋の人数を調整している。	コロナ禍のため、引き続きソーシャルディスタンスを保つために足型の活用や必要に応じてパーティションを利用し、スペースの確保に努めている。
	2 職員の配置数は適切である	○			利用人数や子どもの特性に応じてグループに入る職員数を調整している。また密にならないように配慮もしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			室内はクッション材やじゅうたんを用いて段差をなくすよう工夫している。子どもの特性に応じて空間の使い分けやわかりやすい環境設定を調整している。	玄関や洗面所に段差はあるが、現在利用しているお子さんについては、安全に過ごす上で許容範囲内であると捉えている。引き続き、お子さんに段差があることを伝え、保護者や職員で見守り、事故につながらないように配慮していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			活動室とあそぶ場所を分けている。あそぶ部屋に絨毯を敷き、心地よく過ごせるよう工夫している。コロナ対策と、清潔を保つため、使用したものを消毒している。	経年劣化がみられる玩具や教具もあることから、点検や入れ替えの適切な頻度やタイミングを検討していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			グループ前は、全員で活動の流れや注意点の確認をしている。グループ後に活動の振り返りをして、情報共有や支援方法の検討を行っている。	PDCAのサイクルでは、Actionの期日が未定になることが多いため、期日まで決めた行動や計画を心がけていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			意向やご意見について、全職員に周知、検討をし、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			法人として行っている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			法人内の研修や外部研修に参加している。コロナ禍のため、状況に応じてオンラインを活用している。事業所内研修も定期的に実施し、職員の資質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者へのアンケート調査、子どもの発達検査の結果や興味関心、参加状況からニーズや課題を抽出し作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			発達検査や知能検査の結果を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			打ち合わせで児童発達支援計画を職員間で確認している。また事業所独自の評価シートに毎回保護者が児童発達支援計画の目標を記入し、目標を意識して参加できるよう工夫している。グループ終了後は計画に沿った支援の状況について記載し、次回に生かすことができるようにしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			以前の活動の取り組み状況から、プログラム立案を全職員で行っている。	季節やイベントごと、活動プログラムが固定化されないように引き続き注意を払い、有意義な成功体験や達成体験が得られる機会の提供を目指していく。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			子どもたちの経験が限られないようプログラムは固定化しないよう創意工夫している。固定化した方が力を発揮できる子どもについては一部固定化し、スキルの定着を評価している。同じ活動プログラムでも毎回異なるねらいや目的を設定している。	
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			児童発達支援計画や前回の記録を用いて行っている。特に留意すべき点などについては記録に『次回に向けて』の欄を作り、確認しやすいようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りを行い、情報共有や改善点の共有を実施し、記録に残している。次回に向けての取り組みや支援方法についても振り返りで話し合い、支援記録に残している。	支援終了後の振り返りだけでは、ケースを深く知り適した支援の提供をするため、不定期でケース検討の機会を確保していく。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			職員がとる記録については職員間で確認し合い、より正しく記録をとることができるよう工夫している。また、保護者にも記録をとっていただき、より充実した支援につなげることができるように工夫している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			関係機関と情報を共有し、連携した生活に根差した支援になるよう配慮している。	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	対象児がいない。充実した支援が提供できるよう法人内の各事業所で受け入れの対象児を明確にしている。(現在は法人内の別の事業所で受け入れ体制を整えている)	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	対象児がいない。充実した支援が提供できるよう法人内の各事業所で受け入れの対象児を明確にしている。(現在は法人内の別の事業所で受け入れ体制を整えている)	
	25	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保育園や幼稚園等に通っている子どもが対象のため、必要に応じて訪問や電話などで情報交換をしている。児童発達支援センターに移行する場合なども、情報を共有している。事業所の見学希望も受け入れている。	
	26	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて小学校の訪問や電話などで情報共有をしている。保護者には小学校に向けて支援シートIや相談支援ファイル『かけはし』の作成に向けての支援を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			保育園や幼稚園等の職員の見学を受け入れたり、こちらから職員が訪問したりして職員交流を行っている。	保育園や幼稚園等に通っている子どもが対象のため、事業所で機会を設けなくても日ごろから障がいのない子どもと活動する機会を十分得ていると判断している。保育園や幼稚園等で障がいのない子どもと活動するなかで課題となる部分については今後も保育園、幼稚園等の職員と連携を取っていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	現在は法人内の別の事業所の職員が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎回、活動や課題内容について説明しながら成長している面などについて話をしている。またおたより帳を活用し、家庭内で困っていることや、保育園や幼稚園等での様子について情報を共有している。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			標準化されたプログラムは導入していないものの個々に応じて保護者の対応力の向上を図ることができるよう工夫して支援を行っている。	ペアレント・トレーニングなどの家族支援に向けたプログラムの検討をしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法を一緒に考えている。相談しやすい雰囲気や心がけたり、支援中でも子どもに相談内容が聞こえないよう配慮や工夫をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ禍もあり、開催を縮小、かつ定員数を減らして懇談会を実施。	通常は年3回以上の懇談会を実施していたので、感染の流行状況を精査し、定期的な保護者同士の連携ができる機会を設けていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			支援中も相談できる時間を設けているが、それ以外でも事業所内相談支援を活用し、相談できることを周知し、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月1回のおたよりの発行で活動内容や勉強会の予定などを記載している。会報については法人で定期的に発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の提供について契約時に保護者に同意を得て取り扱いに注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			見える情報で共有しつつ、個々に応じて話し方、伝え方を工夫している。また保護者から話しを伺うときは子どもに聞こえないよう配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			法人主催の松風園まつりを毎年実施しているが、現在はコロナ禍や工事などで実施できていない。
		34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法を一緒に考えている。相談しやすい雰囲気や心がけたり、支援中でも子どもに相談内容が聞こえないよう配慮や工夫をしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月職員間で実施している。子どもや保護者との避難訓練は3か月に1回実施している。やり方を見える形で教え、実践している。	避難訓練を定期的実施しているものの、保護者への周知が徹底していないため、毎月のお知らせで伝達していく。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			確認している。親子での参加のため、急な体調不良にも保護者と一緒に対応できる状況にある。また現在はコロナ禍のため、入室時に体温や体調を確認し、安全に支援が実施できるようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者から情報を得ているが食べ物を提供する機会はない。食材を食べること以外で活動で使用する時にも、アレルギーの子どものが在籍している場合は用いないようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			業務日誌にて事例、対応、改善策、再発防止について記載し、職員間で共有している。	

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修に参加したり、虐待防止・身体拘束の適正化委員会を開催し、適切な対応や各自の支援方法を振り返る機会を設けている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			契約時に説明している。また、身体拘束は行わないが、支援上必要な行動抑制について児童発達支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年12月27日

アンケート期間：令和4年10月13日～令和4年11月14日

事業所名：児童発達支援事業どんぐり

保護者等数（児童数）29名

回収数20名

割合68.9%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	0	0	・個人個人のスペースが保たれている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0	・必ず先生がついてくれています。 ・本人の状態に合わせて対応してもらっています。	・今後も子どもの特性や成長に合わせて必要な職員数の調整、専門性の研鑽をしております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	0	0	0	・目で見てわかるように予定や活動など工夫してもらっています。 ・本人がわかりやすいように環境が整っている。	・各々の特性に応じた環境の工夫を目指していますが、お気づきのことがありましたら是非職員にお声かけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	0	・活動内容ごとに部屋がわかれている。	・毎回使用した玩具はアルコール消毒をしています。窓を開けての換気を実施しています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	20	0	0	0	・本人の状況をよく把握されている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	1	0	0	・苦手なことをできるように支援していただいています。 ・本人の家族支援、地域支援の必要な内容が計画書に設定されている。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	1	0	0	・支援の中で目的を伝えられ理解しやすい。	
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	0	・毎回活動内容が変化に富んでいて工夫されているのを感じます。	

区 分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	4	1	4	・無回答1名	・保育園や幼稚園等に通っているお子さんが利用しているため、障害のない子どもと活動する機会は、保育園や幼稚園等で十分に得ていると考えています。充実した保育園、幼稚園等生活ができるよう引き続き必要に応じて担任の先生との連携や交流を今後も実施していきたいと思います。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0	0	・契約時にされている。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※4等）が行われているか	19	1	0	0	・在宅支援は行っていたが、ペアトレをやってもらえるとこちらも勉強になる。 ・子どものほめ方や介助のやり方を教えてもらっている。	・ご意見ありがとうございます。ペアトレのエッセンスを用いて、保護者への提案をしています。ペアトレの勉強会なども今後企画検討ができればと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	・子どもの体調や精神面など、情報を共有してもらっています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	0	・育児に関する相談やアドバイスをいただいています。 ・必要に応じて職員の方から面談を勧めていただいたり、面談に応じてもらうなど、支援されていると思います。	・グループ療育の中での短い時間でお話しを伺っていますので、時間が不十分なこともあるかもしれませんが、事業所内相談支援を申し込んでいただきますと、ゆっくりと面談ができますので、活用いただければと思います。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	8	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響なので仕方ないと思います。 ・今年になり保護者だけの懇談会が行われたが、1回だけなので連携がとれる程度に行っていたきたい。 ・保護者会などはありません。 ・感染状況をみての対応と思うので、致し方ないかと思うが少しずつ実施してほしい。 ・コロナでない。 ・コロナが落ち着かないので難しいと思っています。 ・支援していただいておりますが、保護者同士の連携は少し時間が足りないように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や懇談会、保護者同士の連携に関わる多くのご意見をいただき、誠にありがとうございます。今年は人数を縮小しての懇談会を1回実施しました。保護者からの素朴な疑問や生活の悩み、よかったツールや支援についての情報交換など、盛り上がる話題も多くありました。来年度は、複数回の開催を目指しつつ、保護者同士の連携がしやすい環境づくりに努めてまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・配慮されている。 	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・活動概要など、プリントでいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、活動内容や研修会の情報などをお知らせとして配布しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いに配慮されている。 	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・感染症対策などを周知されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に感染症の対応についてのご案内をお渡ししています。また、内玄関にもマニュアルを掲示しております。どなたでもご覧いただけるようになっています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・みらいのときは避難の練習が年1回あったが、どんぐりでは行われていないのでやっても良いと思います。 ・定期的に避難の場所や訓練がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1度の頻度で地震または火災を想定した避難訓練を実施しています。毎月のお知らせに掲載して周知の徹底をしております。

区 分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	17	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・毎週楽しみにしています。 ・特性的な固執はないが、「行きたくない」と言っても友達がいれば楽しんでいる。 ・どんぐりに行くことを楽しみにしています♪活動でグダグダになったりしますが感謝しかないです。 ・本人は喜んで通所しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業にご理解とご協力をありがとうございます。「〇〇の活動が楽しかった」の感想や「〇〇をしてみたい」といったご希望などもお気軽にお聞かせください。
	23 事業所の支援に満足しているか	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・無回答1名 ・とても満足しています。 ・去年から利用し、先生方からアドバイスをいただき子どもが落ち着いてきていると感じています。親としては少しずつ子どもとの関わり方がつかめてきたと思っています。いつも温かく見守っていただき、子どもだけでなく私自身も安心できる場所です。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。 ・本人の状態に合わせて支援してもらっているので満足です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しているなかで、お気づきのことやご不明なこと、疑問に感じたことなど、些細なことでもお話しいただけるような雰囲気づくりを大切にしながら、職員一同、充実した支援の提供に努めていきたいと思っております。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和4年11月18日

公表: 令和4年12月27日

事業所名 放課後等デイサービスどんぐり

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動室と自由あそびの部屋が分かれているため、スペースの確保はできている。		
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			グループ内で個別の配慮が必要な子どもにも対応できる人員がいる。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			室内をクッション材を用いて段差をなくすよう工夫している。	洗面所やトイレ、玄関などのバリアフリー化は課題であるが、現在利用している子どもたちに対しては適切である。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>					
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎年アンケートを取り、改善点などを職員会議等で話し合っ業務改善につなげている。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開している。		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			法人として行っている。		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人内の研修や内部研修を実施したり、外部研修に参加したりしている。コロナ禍のため状況に応じてオンラインを活用している。また研修案内を職員間で回覧し、情報提供している。		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者へのアンケート調査、相談支援事業所からの児童支援利用計画、子どもの発達検査の結果や興味関心、参加状況からニーズや課題を抽出し作成している。		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			発達検査や知能検査の結果を使用している。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>					
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			年間計画を作成し、調理、制作、外出(買い物)、運動、ゲーム、季節を意識した活動で組み立てている。コロナ対策のため、調理、外出を控え、代替プログラムにて実施しているが、固定化しないよう工夫している。また、スキルアップを目的にあえて繰り返し経験できるよう活動プログラムを固定化しているものもある。		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>			休日は運営していない。多機能型のため、長期休暇時も時間延長等難しい状況。夏休みには活動プログラムに夏祭りを取り入れるなどの工夫はしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>					
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			職員間で確認し合っ正しく記録をとるようにしている。	ケース検討の機会が持てるように検討している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>						
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>						

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか		○		保護者が送迎しているため、下校時刻の確認 等については学校には行う必要がないことが 現状。必要に応じて個々のケースについて学 校との情報共有を実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か	/	/	/	対象児がいない。充実した支援が提供できるよ う法人内の各事業所で受け入れの対象児を明 確にしている。現在は法人内の別の事業所で 受け入れ体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか	/	/	/	より充実した支援を提供することができるよう小 学4年生になったら同法人の別の事業所へ移 行するため、当事業所には学校を卒業する対 象児がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか			○	交流や一緒に活動する機会は設けていない が、地域生活への参加を見据えて日々支援に あたっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか			○	現在は法人内の別の事業所の職員が参加して いる。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達状況や課題について共通理解を 持っているか	○			送迎時に短時間だが話す機会を設けている。 必要に応じて面談も実施し、情報を共有し共 通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行 っているか	○			標準化されたプログラムは導入していないもの の個々に応じて保護者の対応力の向上を図る ことができるよう工夫して支援を行っている。	ペアレント・トレーニングなどの家族支援に向け たプログラムの検討をしていく。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	○			契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説 明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に保護者と情報共有し、悩みや困りごと については必要に応じて面談を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか	○			コロナ禍で保護者のニーズがあっても行えてい ないことが現状。	人数を少なくしたり、感染対策を徹底したうえで 保護者会や懇談会の実施をしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか	○			苦情受付先を契約時に説明。玄関にも張り出し ている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	○			法人の会報は定期的に発行し、ホームページ に載せたり、玄関に設置したりしている。活動 の年間予定や変更事項、お知らせ等は書面で 発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の提供について契約時に保護者の同 意を得て取り扱いに注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしているか	○			見える形での情報共有に努め、個々に応じた 疎通形態を工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか		○			法人主催の松風園まつりを毎年実施している が、現在はコロナ禍で実施ができていない。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知 しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	○			職員間では毎月、子どもとは3か月ごとに訓練 を実施している。	保護者への伝達方法を工夫していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしているか	○			研修に参加したり、虐待防止・身体拘束の適正 化委員会を開催し、適切な対応や各自の支援 方法を振り返る機会を設けている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明している。また、身体拘束は行わないが支援上必要な行動抑制について放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書の提出はないが、事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。現在はコロナ禍のため、お茶の提供及び調理実習を控え、食物を摂取する機会はない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			業務日誌にて事例、対応、改善策、再発防止について記載し、職員間で共有している。	

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年12月27日

アンケート期間 令和4年10月12日～令和4年11月14日

事業所名：放課後等デイサービスどんぐり

保護者等数（児童数） 67名 回収数 49名 割合 73.1%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	46	3	0			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	45	3	0	無回答 1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	20	2		・玄関や玄関先に段差あり。	・建物の構造上、変更ができないため、段座や注意すべき場所は職員同士で声をかけあって留意しています。
適切な支援	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	48	1	0		・こちらの気持ちや思いをくんで計画をたててくれている。	・計画についてご不明な点や異なっている部分がある場合は、是非職員にお伝えください。現在の状況を教えていただくことで支援や目標の見直しができます。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	46	3	0		・毎回楽しみな内容で、子どもの力量に合わせた調整をしてくれている。	・お子さんの特性や強みに合わせて内容は調整していますが、お気づきのことがありましたら、是非とも職員に教えてくださいと幸いです。

の 提 供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある か	12	18	18	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で仕方ないと思うが無いと思う。 ・他の団体さんと交流はコロナの中では難しいので仕方ない。「クラブ活動」でいつもと違うお友達の交流ができているので良いのでは。 ・コロナ禍もありなかなか難しそう。 	障害のない子どもと活動する機会についてはコロナ禍以前より計画はありません。月に1～2回の頻度の療育となりますので、環境をあまり変えずに個々の特性に応じた支援を実施し、達成感を得たり、自己肯定感を高めたりする活動を中心に活動しています。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回もらう明細の見方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見方については、遠慮なくご連絡いただければと思います。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	48	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・お迎えの際にできたことや苦手なことなど詳しく教えてくださり、お家でのことなども聞いていただき有難いです。 ・日々困っていることにも色々な方法を教えてくれて助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活のなかで気になっていることや嬉しい変化など、共有することで支援に生かしていきたいと思っています。

保護者への説明等

9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46	2	0	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。送迎の限られた時間で情報共有をしているため十分なお話しができない場合もあります。ご希望により事業所内相談支援を申し込んでいただき、相談時間を確保しています。定期的に月1回の頻度で相談時間を設けている方もいらっしゃいますのでぜひ活用のほどご検討ください。事業所内相談支援の周知をしております。 ・児童発達支援の時に比べて、情報共有の時間が減ってしまったので、半期に一度くらいは面談してほしい。
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	22	11		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しいと思いますが、保護者と先生方とお話しする会があれば嬉しいです。小学校に入ってから先生とお話しすることも少なくなってしまったので…。 ・今、コロナなのでない感じのため。 ・保護者同士でお話しできる場があれば… ・以前（コロナ前）はありましたが、現在は難しいのだと思います。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	9	0		<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことでも気になったことがありましたら、是非職員のお声かけいただけると幸いです。 ・苦情を言うことがない、いい対応をしてもらっている。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	49	0	0		

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	7	2	・以前は”どんぐりだより”のお知らせがあったが、webで構わないので、どんな行動を行っているのか発信してほしい。	・貴重なご意見ありがとうございます。 皆さんに広く、便利にご利用いただけるよう、現在LINE WORKSの準備中です。整いましたら、定期での活動の報告やさまざまな情報を発信していきたいと考えています。
	14	個人情報に十分注意しているか	48	1	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	47	2	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	10	0		訓練は実施しています。送迎時に報告及び玄関で実施した旨の掲示をしています。以後も周知の徹底をまいります。
満足	17	子どもは通所を楽しみにしているか	46	3	0	・今週どんぐりー？と水曜になると聞いてきて行くのが楽しみなようです。 ・毎回とても楽しみにしています。 ・毎回うれしそうにリュックを背負ってかけてきます。 ・毎回とても楽しみに通っています！いつもありがとうございます！ ・毎回今日はどうな活動があるのか楽しみにしています。	・事業へのご理解とご協力誠にありがとうございます。「〇〇の活動が楽しかった」の感想や「こんな活動があれば」などのご希望もお気軽に職員にお話してください。

